



「和の根、感謝と優しさの幹、笑顔と配慮の枝葉を大きく育て、社会貢献に活躍できる人材を育てる。」

PROFILE

代表取締役／草葉正司氏

咲楽工房:B型+生活介護&日中一時支援

スタッフ/正社員4名 パート2名 利用者契約数/13名

つぼみ:生活介護&日中一時支援(鹿屋市吾平町)

スタッフ/6名 正社員5名 パート1名

利用者契約者数/6名

事業概要

内職作業(B型の作業の40%) 金属部品を金属の種類ごとに選別する作業 自動車部品であるハーネスの作成作業 農業部門(B型の作業の60%):野菜生産・農産物集荷業者の作業受託

地域の現状

近隣の地域での人手不足、農業従事者の高齢化は顕著であり、また、耕作放棄地等も増えている。

農福をはじめたきっかけ

事業所を設立した際に義父の農地があり、利用者さんの仕事づくりと工賃向上の取組みとして。

沿革(画期区分)

草葉氏は福岡で勤務していたが、生まれてきた子どもが重度の自閉症であった。

平成15年(2003) 子どもの環境調整のために鹿屋市に移住。義父のリサイクル会社に就職。

平成26年(2014) 子どもの支援学校卒業後の居場所づくりのためにB型事業所を自ら株式会社として設立。最初は元酪農家の義父の農地40aから耕作を始める。

平成29年(2017) 近隣の農業生産法人サンフィールズからキャベツの生産と作業受託

平成30年(2018) 農栄からオファーがあり、サツマイモの出荷作業を施設外就労で請け負う

令和2年(2020) サツマイモの生産を始め、農栄と生産での取引をはじめる。

令和3年(2021) サツマイモの生産を本格的に取り組むため5haを借地し栽培の準備中。



ライズのマッチングストーリー

開業当初より少量多品目で野菜を栽培、事業所前や地域の中心部に直売所も設けた。同地域の他B型事業所が運営している直売所へ出荷。地元企業(根菜類の集荷業者)へ交渉し、ニンジンを生産20a~40a作付けし買い取ってもらったが、2年後に同社が撤退。その後、地元農業法人へ営業を行い、キャベツの生産や作業受託を行う関係を築く。

このような活動が同業のB型事業所や地域振興局の目にとまり、施設外就労として、農栄からのオファーや地域振興局からの紹介で近隣の農家の夏の茶畑の除草作業に取り組む。



ライズのマッチングポイント

1 マッチングの形態

自閉症のある子どもの居場所づくりが事業所設立のきっかけであり、家族の課題を出発点に社会課題の解決として地域資源を自ら作り出すことに成功した。

2 その発展過程

草葉氏の土地勘はなかったが、元酪農家の義父の農地が事業所の隣にあり、農業生産に取り組むやすい地域であった。草葉氏の当事者の家族ならではの経営理念が共感を呼び、地域から生産依頼が来るまでに成長した。

3 行政による

財政的・人的支援

人的には、地域振興局の立和田氏はじめ普及員、市役所の浜脇氏による地域農業者とのマッチングが生まれた。上記両氏の助けにより認定農業者となり、経営継続補助金の事業を利用。今後、農山漁村振興事業・農福連携事業を計画。

4 農業関係団体・福祉関係団体との連携形態

近隣の事業所や農業生産法人等(※上記参照)

5 マッチングの対象

地域:鹿屋市

品目:さつまいも・キャベツ・キクラゲ選別・

エノキダケ出荷調整

利用者:現在は、知的・精神の方のみ。

6 コーディネーターの育成方法

農業部門の作業割合を増やすにあたっては、健常者が主体となって農業生産を行い、そこに障がい者がスポット的に作業に参加する分業に基づく作業体系を構築し、安定的な生産をめざしている。

